

参 考

令和4年度学校環境適正化に関するアンケート結果

実施期間 令和4年9月1日～9月16日

アンケート対象及び児童・生徒数

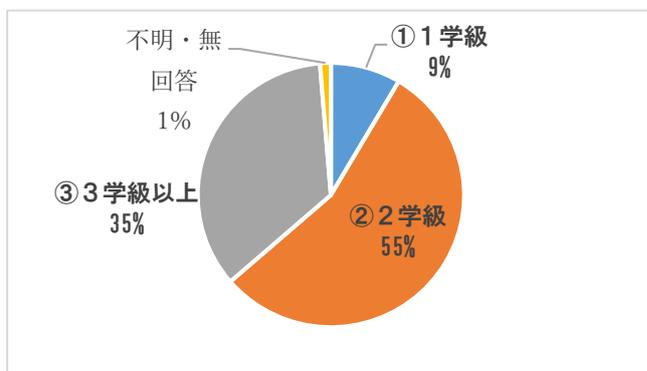
	保護者 自治会長			児童生徒			教員		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
未就学児	596	463	77.7	—	—	—	—	—	—
小学校	927	769	83.0	342	311	90.9	74	68	91.9
中学校	495	379	76.6	309	273	88.3	61	52	85.2
各自治会	103	89	86.4	—	—	—	—	—	—
計	2,121	1,700	80.2	651	584	89.7	135	120	88.9

総配布数 2,907 回収数 2,404 回収率 82.7%

= 学校環境適正化についてのアンケート調査結果（保護者、教員、自治会用） =

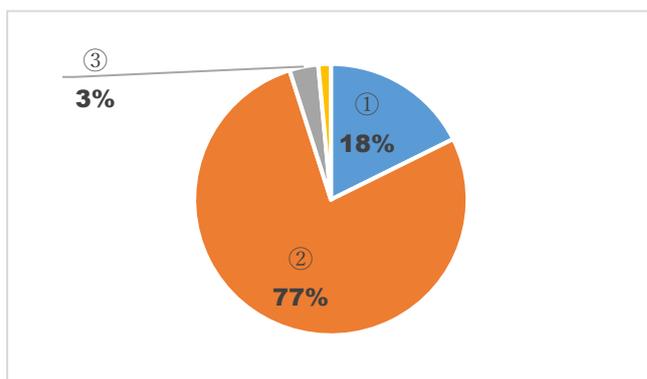
・国においては、小学校の1つの学年は1学年あたり2～3学級（1学級あたりの人数は35人程度）を標準としていますが、何学級が望ましいと考えますか。（あてはまるもの1つに○）

①1学級（155） ②2学級（1,003） ③3学級以上（638） 不明・無回答（24）



・国においては、中学校の1つの学年は1学年あたり4～6学級（1学級あたりの人数は40人程度）を標準としていますが、何学級が望ましいと考えますか。（あてはまるもの1つに○）

①1～2学級（321） ②3～5学級（1,410） ③6学級以上（62） 不明・無回答（27）



にかほ市学校環境適正化に関する提言書(令和5年3月)より

検討委員会でのこれまでの議論を踏まえ、にかほ市の今後の学校のあり方について、以下のとおり提言します。

- 1 適正化の実施に当たっては、よりよい教育環境を子どもたちに提供することを最優先とし、長期的な見通しをもって行うべきであること。
- 2 適正化計画の策定にあたっては、小学校と中学校を一体的にとらえ、当市の児童生徒の状況及び通学距離などの児童生徒の負担、地域の状況など様々な観点から検討すること。
- 3 適正化計画は保護者や地域の理解を得られるよう丁寧に説明して進めること。
- 4 小学校では、1学年2学級以上を目指し、学級活動やグループ活動が効果的に行うことができる規模の人数を確保するよう努めること。
- 5 中学校では、1学年3学級以上を目指し、すべての教科において専門教科の免許を有する教員が確保できる体制を整えるよう努めること。
- 6 複式学級は、学習活動が制限され多様な学習活動が難しいことや、教員の負担が大きいことなどから、可能な限り編成しないよう努めること。
- 7 学校は地域コミュニティの中核であることから、学校の統廃合を行う場合は、地域とのつながりの維持などの配慮に努めること。
- 8 統廃合にあたっては、各学校の持っている風土や文化、特色ある教育活動について統合後の教育活動の中で継続されるよう配慮すること。